

# 横芝 ロータリークラブ



## 会報

創立 昭和41年10月6日  
承認 昭和41年11月21日  
例会日時 毎週木曜  
(12:30~13:30)  
(第2・第4例会18:00~19:00)  
例会会場 中国ダイニング富士屋  
(横芝駅前)  
事務局 〒289-1732  
千葉県山武郡横芝光町横芝1519-6  
TEL 0479-80-1177 FAX 80-1178  
ホームページ  
<http://www.yokoshiba-rc.jp>  
Eメール [info@yokoshiba-rc.jp](mailto:info@yokoshiba-rc.jp)

2007~2008 RI会長 ウィルフリッド J. ウィルキンソン  
第2790地区ガバナー 白鳥政孝 第6分区ガバナー補佐 秋葉吉秋

平成20年6月19日発行 NO.1850 第1979例会 会報委員長 伊藤迪彦

### 例会報告 平成20年6月19日)

点 鐘 会 長 齋藤逸朗  
ソ ン グ 「手に手つないで」  
唱 和 「四つのテスト」  
会 長 挨拶 会 長 齋藤逸朗  
会 務 報 告 会 長 齋藤逸朗  
幹 事 報 告 幹 事 石田喜一  
プ ロ グ ラ ム

卓話者 パストガバナー 平山金吾 様

私達は、土屋氏と素敵なガイドさんと3名のカメラつながりで寺院の観光をしました。商売繁盛の伏見稲荷をスタートに色々楽しませていただきました。京都は広く見学できるが、限られた時間なので、カメラつながりで「今の時期の花の見どころ」とテーマを決めて廻る提案がありまして、その通りに廻りました。ガイドさんの云う事は聞いておくものですね。とても満足でした。特に、沙心寺、東林院は、心に残っています。入場料1,600円位で抹茶と説法をいただきました。平家物語の沙羅双樹の花の色で知られている木、沙羅双樹の木の話でした。日本名を「夏つばき」と云うそうです。白いかわいらしい花を咲かせます。「一生懸命」という言葉。この花は、朝咲き、夕には落ちるそうです。人間の一生にたとえ、一日一日を一生懸命生きる教えをいただきました。皆さんに是非お伝えしたいところでした。

いよいよ、26日は最後の例会で、慰労会ということなので楽しみにしております。ありがとうございます。

### 会長挨拶



齋藤逸朗会長

皆さんこんにちは。

2週間ご無沙汰の方もおられます。平山金吾パストガバナーをお迎えいたしまして、本日卓話を願っています。

平山パストガバナーには、ようこそおいで下さいました。10年前、私は椎名鎌一郎会長年度の幹事で、その時のガバナーが平山さんだったので。本日は、ひとしお楽しみにしておりますので、よろしく願い致します。

さて、先週はお休みでしたが、私達10名で京都旅行に1泊2日で行ってきました。

初日は、自由行動で奈良ロータリークラブにメイクアップした人達もおりました。140名の大クラブで勉強する所が大きかったとの感想です。

### 幹事報告

#### ①例会変更のお知らせ

- ・茂原R. C.  
6/26 (木) 点鐘18:00 (吉田年度最終例会の為) プラザハイアン茂原
- ・大多喜R. C.  
6/17 (火) 点鐘18:00 最終夜間例会 養老溪谷 天龍荘
- 6/24 (火) 休会 (定款第5条第1節による)
- ・大原R. C.  
6/26 (木) 点鐘18:30 夜間移動例会 あすり (60-8855)

#### ②週報受領クラブ

- ・多古R. C.      ・八日市場R. C.      ・旭R. C.
- ・銚子R. C.      ・奈良R. C.      ・京都東R. C.

## 外部卓話

### 「これからのロータリーについて」

パストガバナー平山金吾 様 (成田R.C.)



本日は横芝ロータリークラブ例会にお呼び下さり有難うございました。数年前に職業奉仕の話で御邪魔致しましたが、今回は月信に出了ました「これからのロータリーについて」と言うテーマを頂きましたのでこれに沿ってお話いたします。

昨今のロータリーの衰退を考えると、ロータリーの原理原則を軽視したことにあると考えられます。先ず、第一には会員の増強の在り方、出席の軽視、一業一人制の軽視。増強とは強化と増大の両面があり、この順序を逆にして会員数を増やす増大に偏った事。むしろ会員の資質の強化に力を入れるべきであった。ロータリーの真の意味、哲学を知らずして単なる会員 (A Member of Rotary) で真の会員 (Rotarian) を作らなかつたこと。やがて「悪化は良貨を駆逐する」の言葉のように良きRotarianでさえ嫌気がさして退会して行つた。親睦もお互いを知り合い理解し親しみ合うよりも仲間同士で狎れ親しむ傾向にあることが挙げられる、中には単に酒飲み友達、遊び友達の関係もある。

会員増強については会員資格として、一週間に2時間程度の時間の自由が取れること(出来れば自分でスケジュールが組める立場)、会費及び多少の費用の支出に余裕があること、奉仕の精神があることがあります。一人でも反対者が居れば入会させないこと。厳しい様でありますがこの事は大変重要で、入会時に推薦者はこの事を良く説明をし、後日そんな筈ではなかつたと言わせない事が肝要です。この事をよく理解しておれば、クラブの役割分担も問題はなくなります。会員は皆忙しい人であるので忙しい事を理由に役を断つては会が成立しない。

消極面を申し上げましたが、積極面では「ロータリーに入って良かった20の点」でもいわれている様に、良き仲間との交流、交際範囲の拡大、切磋琢磨、家族ぐるみの交際、人格、品性の向上等数え上げればきりが無い程の恩恵がある。これを生かすも殺すもその人次第ではあります。

ロータリーに入会してよかつた20の理由

- 1 友情：益々複雑になる世界で、人間の基本的ニーズを提供しています。友情と親睦と言うニーズ。これはロータリーが1905年に始まつた2つの理由の一つです。
- 2 事業の発展：ロータリーの創始の当初の理由の3番目。誰もが人脈を必要としています。ロータリーは地域のあらゆる事業の横断面になっています。会員はあらゆる職種から選ばれています。ロータリアンは互いに援助し合い、集団で他の人を援助します。

- 3 個人としての成長発展：ロータリーの会員になると、人間関係と個人の育成と言う面に於いて成長し学び続けることが出来ます。
- 4 指導力の養成：ロータリーは指導者と成功者からなる組織です。ロータリーの役割を務めることは、指導力については大学教育のようなものです。どのように指導者のやる気を起こし、影響を与え、指導するかを学びます。
- 5 地域社会における市民：ロータリーの会員になることで、地域社会の良き市民となります。平均的ロータリークラブは地域の最も活動的な市民から成ります。
- 6 生涯教育：ロータリーでは毎週、地域、国、世界の情勢に関するプログラムが行われています。講演者も論題も様々です。
- 7 楽しいこと：ロータリーは楽しいものです。各例会は楽しいものです。クラブプロジェクトは楽しいものです。社交活動は楽しいものです。そして奉仕活動は楽しいものです。
- 8 講演技術：ロータリーに入会した多くの人は、人前で話す事に尻込みしています。ロータリーは人前で話す事に自信を持たせ、その力を伸ばします。さらに機会も提供します。
- 9 世界市民：各ロータリーは「国際ロータリー」を意味するピンを着用しています。各ロータリアンは歓迎されています。200の国と及び地理的地域の32774のクラブに出席するよう奨励されています。ロータリークラブのないところは世界中にほとんどありません。地域社会と世界社会で友達が作れます。
- 10 旅行中の援助：ロータリークラブは各地にありますので、ロータリアンが旅行中に医師、弁護士、ホテル、歯科医、助言など必要とする時、ロータリアンを通じて速やかに必要とするものが得られます。
- 11 娯楽：各ロータリークラブと地域はパーティーや活動を実施していますので、事業生活の気分転換になります。ロータリーは大会、国際大会、協議会、研究会を開いています。ロータリー情報、教育、奉仕活動だけでなく、娯楽も提供しています。
- 12 社交術の養成：毎週、又いろいろな行事で、ロータリーは個性、社交術、対人関係を磨きます。ロータリーは人間が好きな人、または好きになりたいと思つている人の為のものです。
- 13 家族プログラム：ロータリーは世界最大の青少年交換プログラムを提供しています。将来のロータリアンの為の高校、大学のクラブ、配偶者のクラブとプログラム。家族全員が家族の有難味を伸ばして行けるよう援助することを目指した多くの活動。

14 職業技能：各ロータリアンは、自分の専門職務または職業を成長、発展させるよう期待されています。委員を務め、青少年に自分の仕事または職業を教えるよう期待されています。委員を務め、青少年に自分の仕事または職業を教えるよう期待されています。ロータリーは、ロータリアンをより良き医師、弁護士、教師（または生計を得るための全職業）などにしてくれます。

15 倫理の開発：ロータリアンは、倫理基準の指針となる「四つのテスト」を実践しています。ロータリアンは事業及び人間関係に於いて倫理的である様期待されています。

16 文化の理解：実質上あらゆる宗教、国、人種、教条、政党、言語、皮膚の色、倫理観が世界中のロータリアンに見受けられます。ロータリーは世界で最も優れた、あらゆる経歴の市民の横断面になっています。ロータリーは異文化を理解し、各地の人々を愛し、協力することを学びます。ロータリアンはその過程で自国の良き市民となることです。

17 信望：ロータリーの会員は優秀な人々です。事業、専門職務、芸術、政府、スポーツ、軍隊、宗教、すべての学問分野の指導者です。ロータリーは世界で最初の奉仕クラブで、最も信望のあるものです。役員、経営者、専門職務に携わる人、決定権があり、方針に影響力のある人です。必ずしもすべての人をロータリーに誘って良いわけではありません。

18 良い人：ロータリアンはとりわけ良い人ばかりです。地上で最も良い人たちです。ロータリアンは、方針を守る重要な人々です。重要人物ということは大事ですが、良い人であることは最も重要です。

19 公式の教条が無い事：ロータリーには秘密の握手も、秘密の方針も、公式の教条も、秘密の会合も、儀式ありません。ロータリーは開かれた社会です。人助けをひたすら信望する男女からなる組織です。

20 奉仕の機会：ロータリーは奉仕クラブです。事業は人類を対象にしています。製品は奉仕です。ロータリアンは、地元と国際社会に奉仕を行います。誰か他の人に何かをしてあげる機会は、多分、ロータリアンになる最高の理由です。その中で芽生える充実感。さらに報われたという思いが自分の人生にプラス面として返ってきます。ロータリアンは「超我の奉仕」を信奉しています。これは大変やりがいのあるものです。「最も良く奉仕する者、最も多く報われる」。

平等、格差がやかましく言われる時代ですが、我々は真の意味でのエリート集団であるべきです（私が言うエリートとはいざ鎌倉と言う時には率先して社会国家の為に力を出せる人たちと言う意味です）。社会奉仕、国際奉仕等でロータリーからの支援はしても公的資金は一円たりとも頂いてはいないし、法人格も持っていません（財団はお金を扱う関係で財団法人になっています）実に自由な団体です。これからのロータリーはもう一度原点に立ち戻り、その地域の素晴らしい人達の集団でありたいものです。和やかな中に厳しさ

があり、学びがあり、情報交換の場であり、出席して何かを得られる（自分も発信しなければなりません）場がロータリーの例会場です。

ロータリーは倫理運動であるとも言われています。現今ロータリー企業でも残念ながら不祥事を起こしているものもあります。私達は余程心を引き締めていかなければならないと思います。ポールハリスはロータリーを設計するときWASPを意識したと思います。

WASPから肌の色、人種、宗教の違いを超越する事に腐心したと思います。

ロータリーのモットーである次の理念を深く理解し実践することです。

寛容と友愛 (Tolerance and Fellowship)

奉仕の理想 (Ideal of service)

超我の奉仕 (Service above self.)

最も良く奉仕する者、最もよく報われる

(He profits most, who serves best.)

## ■ 委員会報告

### ◇ 京都・奈良研修旅行並びにメイキャップの報告



会長エレクト兼クラブ奉仕委員長  
富 一美

皆さんこんにちは。

先週の12日から13日の2日間に亘りまして、総勢8名と人数は少なかったのですが、京都・奈良へメーカーアップを兼ねまして研修旅行に行っていました。

朝、東京駅を8時10分の新幹線で京都に向かいました。

京都についてからは、現地では、自由行動の予定でありましたが、初日は予定外でありました奈良ロータリークラブ（近東宏光会長）にメーカーアップし、2日目は事前に申し込んでありました京都東ロータリークラブ（左右田健次会長）にメーカーアップをさせていただきました。

この初日の奈良ロータリークラブの概要を申し上げますと、創立が1952年（昭和27年）3月27日でございます。大阪ロータリークラブと京都ロータリークラブの2クラブがスポンサークラブで、創立以来56年の歴史あるクラブでございます。

その例会場は、奈良県奈良市高畑町にございまして、明治42年創業で、海外の著名人や国内では皇室関係者も多数利用されたことのある奈良では由緒ある奈良ホテルでございます。ビジター費につきましては、一人4,300円でございます。現在の会員数は144名でございますが、それでも2002年から比べますと26名の会員減少があったそうでございます。

そういうこともありましてか、昨年創立55年という節目の年にCLP（クラブ・リーダーシップ・プラン）を導入して、今年で2年目にあたるそうございますが、近東宏光現会長曰く、CLPの導入という事で会員諸兄のロータリーへの取り組む姿勢が一段と積極化したそうでありまして、これは大変喜ぶべき事だと思っておっしゃってございました。この奈良ロータリークラブへは、突然の訪問であったのにも拘りませず、ロータリーの友情と申しましようか、友愛の心と申しましようか、本当に心温まるおもてなしを頂きまして、例会中に会長挨拶の後、わざわざ私どもに時間を取ってくださいます、ご挨拶の時間を頂戴いたしました。菅井パストガバナー補佐にご挨拶をお願いし、当横芝ロータリークラブの簡単なご紹介や今回の訪問の目的等を述べさせていただきます。本当に奈良ロータリークラブの近東宏光会長には深く感謝を申し上げたいと思います。

2日目は、予定どおり、京都東ロータリークラブ（左右田健次会長）にメイクアップをさせていただきました。この左右田健次会長は現在京都大学の名誉教授でございます。この京都東ロータリークラブの概要を申し上げますと、創立が1956年（昭和31年）5月21日で、京都ロータリークラブがスポンサークラブで、こちらも創立以来52年の歴史あるクラブでございます。例会場は、京都市東山区三条にございまして、明治23年創業の老舗ホテルのウエスティン都ホテル京都でございます。ビジター費につきましては、一人4,300円でございます。現在の会員数は110名で、平均年齢は67歳8ヶ月でございます。

以上で2クラブのご紹介を終わりにして、続いて2クラブにメイクアップさせていただいての感想を述べさせていただきます。2クラブとも、申し上げるまでもなく歴史と伝統に満ち、ロータリアンの醸し出す雰囲気も然る事乍ら、品位と風格のある例会運営でございました。よく環境は人を変えると申しますが、本当にまともな言葉であり、真のロータリアンを作るためには、当クラブも斯く在りたいものだと思っておりました。

しかし、比較してしまいますと当クラブはまだまだ弱小クラブであり、その域には程遠い所に居るとは思いますが、たとえ今現在において能力や知恵がおぼつかなくとも、自己研鑽により、ロータリーに対する熱意と考え方だけでも近づくような努力を会員の皆さんとしていこうと、意を決した次第でございました。

よく規模の大きいロータリークラブは、CLP導入については余り積極的ではないというようなお話を聞いておりましたが、今回奈良ロータリークラブのように144名の会員を擁する歴史と伝統・友情に支えられたクラブであってもCLPを導入されていること、これはポールハリスが20世紀初頭に残した言葉で「世界は常に変化している。ロータリーはこの世界と共に変化して成長していかねばならない。ロータリーの物語は何度も書き換えられなければならない。」という有名な言葉こそ、このCLPの本質に通じるものであり、奈良ロータリークラブは、その本質を見極められて、いち早くCLPの導入を図られたもののご推察を申し上げるところでございます。

纏めといたしまして、いまやグローバル化（つまり国際化）と知識の時代を迎えまして、しっかりと歴史感を持って本質を見失うことなく、その急激な変化へのスピーディーな適応こそ、今を生きる私たちの課題であると再認識させられた次第でございます。これを持ちまして、京都・奈良研修旅行並びにメイクアップの報告を終わります。

## ■ ニコニコボックス

- 平山金吾様 …（卓話をさせていただきました）  
土屋俊夫君 …（誕生日祝に月の土地を2000坪頂きました）  
越川博光君・菅井直秀君・齋藤逸朗君・富一美君  
・土屋俊夫君・高田一行君  
…（京都、奈良のロータリークラブにメイクアップして来ました）  
高田一行君 …（娘さんが自宅を購入してお世話になった、タバコをやめたので）  
青柳誠君 …（病気全快、名刺を頂きました）

本日計 34,000円  
累計 1,288,140円

## ■ 出席報告



例会日	会員数	出席	MU	%
5月19日	45	32	10	93.3

☆ 欠席をしたらメイクアップをしましょう ☆